



2025年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年8月8日

上場会社名 PHCホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 6523 URL <https://www.phchd.com/jp/ir>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 出口 恭子
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部 上席部長 (氏名) 木村 正志 TEL 03-6695-9938
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績 (2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	85,187	4.7	2,027	18.4	△2,762	-	△3,191	-	△3,173	-	11,173	△7.1
2024年3月期第1四半期	81,325	△0.2	1,712	△16.3	△3,588	-	△3,149	-	△3,200	-	12,031	97.6

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△25.17	△25.17
2024年3月期第1四半期	△25.50	△25.50

(参考) 持分法による投資損益 2025年3月期第1四半期 △74百万円 2024年3月期第1四半期 △85百万円

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	563,515	148,065	148,458	26.3
2024年3月期	564,327	139,163	139,515	24.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	36.00	-	18.00	54.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期(予想)	-	21.00	-	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	360,000	1.7	19,100	-	13,900	-	10,300	-	10,300	-	81.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 -社 (社名)、除外 -社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	126,309,898株	2024年3月期	126,244,271株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	211,941株	2024年3月期	211,941株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	126,077,878株	2024年3月期1Q	125,503,889株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	7
(3) キャッシュ・フローに関する説明	7
(4) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	7
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	14
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(セグメント情報)	15
(売上収益)	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、2025年3月期よりセグメントの内訳を変更いたしました。

従来、糖尿病マネジメントに含まれていた診断薬事業及びヘルスケアソリューションのLSIM事業に含まれていた診断薬事業を、診断・ライフサイエンスに移管し、診断薬事業として区分しました。また、従来ヘルスケアソリューションのLSIM事業に含まれていた創薬支援事業を、同じヘルスケアソリューションの中でCRO事業として区分しました。

以下の文章は変更後の区分にて記載いたします。

当第1四半期連結累計期間（以下、「当期」）における当社グループの売上収益は85,187百万円（前年同期比4.7%増）となりました。糖尿病マネジメントは前年同期と同等の売上となりましたが、ヘルスケアソリューションが2023年10月に実施したM&Aの効果等により増収となりました。また、診断・ライフサイエンスは市況停滞の影響を受けつつも、主に為替の好影響により増収となりました。

営業利益は2,027百万円（前年同期比18.4%増）となりました。糖尿病マネジメントは一時費用減少の影響もあり前年同期並みの利益水準となりましたが、LSIM事業の増収及びコスト削減等によりヘルスケアソリューションが増益となり、設備投資抑制等の市況の影響を受けた診断・ライフサイエンスの減益を補いました。

調整後EBITDAは9,522百万円（前年同期比5.0%減）となりました。主な当該調整項目としては、一時的な事業構造改革関連収益・費用（当期約168百万円加算、前年同期1,641百万円加算）がありました。

税引前四半期損失は2,762百万円（前年同期は3,588百万円の損失）となりました。為替差損及び利息費用により損失となりましたが、前年同期比では営業利益の増加と利息費用の減少により825百万円改善いたしました。

親会社の所有者に帰属する四半期損失は3,173百万円（前年同期は3,200百万円の損失）となりました。

キャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する四半期損失は1,058百万円（前年同期は1,147百万円の損失）となりました。

（単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
売上収益	81,325	85,187	4.7%
営業利益	1,712	2,027	18.4%
EBITDA	8,370	9,339	11.6%
調整後EBITDA	10,024	9,522	△5.0%
税引前四半期利益（△は損失）	△3,588	△2,762	－
四半期利益（△は損失）	△3,149	△3,191	－
親会社の所有者に帰属する四半期利益（△は損失）	△3,200	△3,173	－
キャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する四半期利益	△1,147	△1,058	－
米ドル平均レート（円）	137.29 円	155.92 円	18.63 円
ユーロ平均レート（円）	149.64 円	167.88 円	18.24 円

（注）EBITDA、調整後EBITDA及びキャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する四半期利益は国際会計基準（IFRS）に基づく開示ではありませんが、当社はこの開示が投資家の皆様に有益な情報を提供すると考えています。

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
営業利益	1,712	2,027	18.4%
+ 減価償却費	6,658	7,312	9.8%
+ 減損損失(有価証券等を除く)	0	—	—
EBITDA	8,370	9,339	11.6%
(調整額)			
+ 一時的なM&A関連収益・費用	15	10	△33.3%
+ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	1,641	168	△89.8%
+ 一時的な資産の処分等収益・費用	1	—	—
+ 一時的な役職員報酬	—	—	—
+ 一時的なその他の収益・費用	△4	3	—
調整後EBITDA	10,024	9,522	△5.0%

(注) EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

$$\begin{aligned} \text{EBITDA} &= \text{営業利益} + \text{減価償却費} + \text{減損損失(有価証券等を除く)} \\ \text{調整後EBITDA} &= \text{EBITDA} + \text{一時的な収益・費用} \end{aligned}$$

(キャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する四半期利益算出表)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
親会社の所有者に帰属する四半期利益(△は損失)	△3,200	△3,173	—
(調整額)			
+ M&A関連の有形・無形資産償却費	2,643	2,727	3.2%
+ 減損損失(有価証券等を除く)	0	—	—
+ 転換権付貸付金時価評価収益・費用	—	—	—
+ 法人税見合い調整額	△590	△611	—
キャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する四半期利益	△1,147	△1,058	—

(注) キャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する四半期利益を以下の算式により算出しております。

$$\begin{aligned} &\text{キャッシュベースでの親会社の所有者に帰属する四半期利益} \\ &= \text{親会社の所有者に帰属する四半期利益} + \text{M\&A関連収益・費用(償却資産)} \\ &\quad + \text{減損損失(有価証券等を除く)} + \text{転換権付貸付金時価評価収益・費用} + \text{法人税見合い調整額} \end{aligned}$$

セグメント別の状況
糖尿病マネジメント

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
売上収益	23,227	23,241	0.1%
営業利益	1,625	1,670	2.8%
EBITDA	3,420	3,343	△2.3%
調整後EBITDA	4,863	3,348	△31.2%

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
営業利益	1,625	1,670	2.8%
+ 減価償却費	1,794	1,673	△6.7%
+ 減損損失(有価証券等を除く)	—	—	—
EBITDA	3,420	3,343	△2.3%
(調整額)			
+ 一時的なM&A関連収益・費用	—	—	—
+ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	1,401	4	△99.7%
+ 一時的な資産の処分等収益・費用	1	—	—
+ 一時的な役員報酬	—	—	—
+ 一時的なその他の収益・費用	39	—	—
調整後EBITDA	4,863	3,348	△31.2%

(注) 1. 従来糖尿病マネジメントに含まれていた診断薬事業を、2025年3月期より診断・ライフサイエンスに移管しました。それに伴い、2024年3月期の数値も組み替えて記載しております。

2. EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

$$\text{EBITDA} = \text{営業利益} + \text{減価償却費} + \text{減損損失(有価証券等を除く)}$$

$$\text{調整後EBITDA} = \text{EBITDA} + \text{一時的な収益・費用}$$

<売上収益の状況>

当期の糖尿病マネジメントの売上収益は、23,241百万円(前年同期比0.1%増)と、前年同期同等となりました。血糖値測定システム(BGM)事業は、為替の好影響と市場成長が続く新興国における増収の一方、欧米等の先進国市場における市場縮小、低価格チャネルへの移行及び米国における販売協業終了の影響が継続し、若干の減収となりました。欧州市場においては、当社の市場シェアは拡大しているものの、市場縮小進行の影響を補うには至りませんでした。持続血糖測定器(CGM)事業は為替の好影響と販売数量の増加により増収となりました。

<営業利益・調整後EBITDAの状況>

当期の糖尿病マネジメントの営業利益は、1,670百万円(前年同期比2.8%増)となりました。これは主にBGM事業において、前年同期に計上した事業構造改革関連費用が当期では大幅に減少したこと及び当該構造改革によるコスト構造の改善が、為替による販管費の増加、販売チャネル構成及び先進国・新興国の販売割合の変化による利益率の低下を補い、増益となったことが要因です。

調整後EBITDAは3,348百万円(前年同期比31.2%減)となりました。主な当該調整項目として、一時的な事業構造改革関連収益・費用(当期4百万円加算、前年同期1,401百万円加算)の計上がありました。

ヘルスケアソリューション

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
売上収益	27,948	30,252	8.2%
営業利益	858	1,252	45.9%
EBITDA	3,202	3,759	17.4%
調整後EBITDA	3,397	3,770	11.0%

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
営業利益	858	1,252	45.9%
+ 減価償却費	2,343	2,507	7.0%
+ 減損損失(有価証券等を除く)	—	—	—
EBITDA	3,202	3,759	17.4%
(調整額)			
+ 一時的なM&A関連収益・費用	—	10	—
+ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	195	—	—
+ 一時的な資産の処分等収益・費用	—	—	—
+ 一時的な役員報酬	—	—	—
+ 一時的なその他の収益・費用	—	—	—
調整後EBITDA	3,397	3,770	11.0%

(注) 1. 従来ヘルスケアソリューションのLSIM事業に含まれていた診断薬事業を、2025年3月期より診断・ライフサイエンスに移管しました。それに伴い、2024年3月期の数値も組み替えて記載しております。また、LSIM事業に含まれていた創薬支援事業をCRO事業として区分しました。

2. EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

$$\text{EBITDA} = \text{営業利益} + \text{減価償却費} + \text{減損損失(有価証券等を除く)}$$

$$\text{調整後EBITDA} = \text{EBITDA} + \text{一時的な収益・費用}$$

<売上収益の状況>

当期のヘルスケアソリューションの売上収益は、30,252百万円(前年同期比8.2%増)となりました。内訳として、LSIM事業が16,583百万円(前年同期比3.2%増)、ヘルスケアITソリューション事業が11,450百万円(前年同期比14.4%増)、CRO事業が2,218百万円(前年同期比18.4%増)となりました。

LSIM事業は、成長施策として取り組んでいる遺伝子分野の検査売上の増加や一般検査数の増加等により増収となりました。

ヘルスケアITソリューション事業は、前年同期に義務化の影響による一時需要があったオンライン資格確認システムの需要減少による減収影響があったものの、2023年10月に取得手続きを完了した富士フィルムヘルスケアシステムズ株式会社の電子カルテ・レセプト関連事業の売上貢献、電子処方箋管理ソフトウェアの売上増加等により増収となりました。

CRO事業は、主に非臨床事業における大型安全性試験の完成により増収となりました。

<営業利益・調整後EBITDAの状況>

当期のヘルスケアソリューションの営業利益は、1,252百万円(前年同期比45.9%増)となりました。これは主に、ヘルスケアITソリューション事業において利益率の高いオンライン資格確認システムの需要減の影響やIT機器の仕入価格上昇、人件費の増加等があった一方、LSIM事業において増収及びコスト削減等により増益となったことが要因です。

調整後EBITDAは、3,770百万円(前年同期比11.0%増)となりました。主な当該調整項目として、一時的なM&A関連収益・費用(当期10百万円加算)の計上がありました。

診断・ライフサイエンス

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
売上収益	29,581	31,031	4.9%
営業利益	1,463	1,320	△9.8%
EBITDA	3,818	4,267	11.8%
調整後EBITDA	3,795	4,359	14.9%

(EBITDA及び調整後EBITDAの算出表)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
営業利益	1,463	1,320	△9.8%
+ 減価償却費	2,354	2,946	25.1%
+ 減損損失(有価証券等を除く)	—	—	—
EBITDA	3,818	4,267	11.8%
(調整額)			
+ 一時的なM&A関連収益・費用	15	—	—
+ 一時的な事業構造改革関連収益・費用	5	91	—
+ 一時的な資産の処分等収益・費用	—	—	—
+ 一時的な役員報酬	—	—	—
+ 一時的なその他の収益・費用	△44	—	—
調整後EBITDA	3,795	4,359	14.9%

(注) 1. 従来、糖尿病マネジメントに含まれていた診断薬事業及びヘルスケアソリューションのLSIM事業に含まれていた診断薬事業を、2025年3月期より診断・ライフサイエンスに移管し、診断薬事業として区分しました。それに伴い、2024年3月期の数値も組み替えて記載しております。

2. EBITDA及び調整後EBITDAを以下の算式により算出しております。

$$\text{EBITDA} = \text{営業利益} + \text{減価償却費} + \text{減損損失(有価証券等を除く)}$$

$$\text{調整後EBITDA} = \text{EBITDA} + \text{一時的な収益・費用}$$

<売上収益の状況>

当期の診断・ライフサイエンスの売上収益は、31,031百万円(前年同期比4.9%増)となりました。内訳として、病理事業が14,305百万円(前年同期比15.1%増)、バイオメディカ事業が12,107百万円(前年同期比0.0%増)、診断薬事業が4,618百万円(前年同期比8.5%減)となりました。

病理事業は、アジア太平洋地域が主に中国の需要減少等の影響で減収となったものの、為替の好影響や、米州・欧州において消耗品販売が好調であったこと等により増収となりました。

バイオメディカ事業は、主力である研究・医療支援機器分野の減収を為替の好影響及び調剤支援機器・その他売上が補い、前年同期と同等の売上となりました。研究・医療支援機器分野は、主に製薬企業等の設備投資抑制の影響により減収となりました。米州は為替の好影響と小口案件の積み上げにより成長したものの、欧州や日本を含めたアジア地域は市況が停滞しております。一方、調剤支援機器・その他売上は、米国市場における旧機種切替キャンペーンの奏功、日本市場における注射薬払出システムの販売等により増収となりました。

診断薬事業は、電動式医薬品注入器の販売減少等により減収となりました。

<営業利益・調整後EBITDAの状況>

当期の診断・ライフサイエンスの営業利益は、1,320百万円(前年同期比9.8%減)となりました。

病理事業は増収及び輸送費の低減等のコスト削減施策の奏功による利益率の改善により増益となりましたが、バイオメディカ事業の研究・医療支援機器分野の減収及びそれに伴う生産調整の影響等により、減益となりました。

調整後EBITDAは、4,359百万円(前年同期比14.9%増)となりました。主な当該調整項目には、一時的な事業構造改革関連収益・費用(当期91百万円加算、前年同期5百万円加算)がありました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べて811百万円減少し、563,515百万円となりました。この主な要因は、為替の影響によりのれんが8,511百万円増加した一方、借入金の返済が進んだことや配当の支払い等により現金及び現金同等物が8,567百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べて9,713百万円減少し、415,450百万円となりました。この主な要因は、借入金について、返済が進んだことにより減少した一方、円安の影響を受けたこと等により増加し、純額で5,332百万円減少したこと、営業債務及びその他の債務が4,141百万円減少したことによるものであります。

資本合計は、前連結会計年度末と比べて8,902百万円増加し、148,065百万円となりました。この主な要因は、在外営業活動体の換算差額等によりその他の資本の構成要素が14,642百万円増加した一方、四半期損失と配当の支払い等により利益剰余金が5,704百万円減少したことによるものであります。また、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の24.7%から1.6ポイント増加して26.3%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ8,567百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末には38,477百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動からの現金純額は5,210百万円であり、前年同期比3,012百万円の収入の減少となりました。当該減少の主な要因は、引当金、その他の流動負債の変動によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用された現金純額は3,240百万円であり、主として有形固定資産及び無形資産の取得による支出3,606百万円から構成されております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用された現金純額は12,394百万円であり、主として長期借入金の返済による支出6,798百万円並びに親会社の所有者への配当金の支払額2,096百万円から構成されております。

(4) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2024年5月10日公表の予想数値から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	47,044	38,477
営業債権	73,802	67,859
棚卸資産	52,651	55,982
その他の金融資産	4,775	4,178
その他の流動資産	9,575	12,025
流動資産合計	187,849	178,523
非流動資産		
有形固定資産	49,708	50,200
のれん	208,719	217,231
無形資産	91,388	91,448
持分法で会計処理されている投資	2,188	2,158
その他の金融資産	13,987	12,679
繰延税金資産	7,058	9,530
その他の非流動資産	3,426	1,743
非流動資産合計	376,477	384,992
資産合計	564,327	563,515

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	69,881	65,772
借入金	36,922	35,273
未払法人所得税等	2,311	2,567
引当金	6,587	6,386
その他の金融負債	6,251	5,977
その他の流動負債	25,445	23,842
流動負債合計	147,400	139,820
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	847	816
借入金	248,123	244,440
退職給付に係る負債	5,709	6,324
引当金	3,431	3,592
その他の金融負債	9,200	9,091
繰延税金負債	9,109	10,150
その他の非流動負債	1,340	1,213
非流動負債合計	277,763	275,629
負債合計	425,163	415,450
資本		
資本金	48,423	48,496
資本剰余金	41,797	41,730
利益剰余金	△2,773	△8,478
自己株式	△568	△568
その他の資本の構成要素	52,635	67,278
親会社の所有者に帰属する持分合計	139,515	148,458
非支配持分	△351	△392
資本合計	139,163	148,065
負債及び資本合計	564,327	563,515

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上収益	81,325	85,187
売上原価	43,929	47,023
売上総利益	37,396	38,164
販売費及び一般管理費	35,625	36,201
その他の収益	128	232
その他の費用	101	94
持分法による投資損益 (△は損失)	△85	△74
営業利益	1,712	2,027
金融収益	343	133
金融費用	5,644	4,922
税引前四半期利益 (△は損失)	△3,588	△2,762
法人所得税費用	△438	428
四半期利益 (△は損失)	△3,149	△3,191
四半期利益 (△は損失) の帰属		
親会社の所有者	△3,200	△3,173
非支配持分	50	△17
1株当たり四半期利益 (△は損失)		
基本的1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	△25.50	△25.17
希薄化後1株当たり四半期利益 (△は損失) (円)	△25.50	△25.17

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期利益 (△は損失)	△3,149	△3,191
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	91	△127
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動	981	△1,120
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△17	△10
在外営業活動体の換算差額	13,998	15,585
持分法によるその他の包括利益	127	37
税引後その他の包括利益	15,181	14,364
四半期包括利益	12,031	11,173
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	11,938	11,194
非支配持分	93	△21
四半期包括利益	12,031	11,173

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					確定給付 制度の再測定	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定する金融資 産	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジ
2023年4月1日時点の残高	47,946	43,641	17,081	△568	—	550	△52
四半期包括利益							
四半期利益(△は損失)	—	—	△3,200	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	91	981	△17
四半期包括利益合計	—	—	△3,200	—	91	981	△17
新株の発行	218	△78	—	—	—	—	—
親会社の所有者に対する配当金	—	—	△4,511	—	—	—	—
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	—	—	—
新株予約権及びリストリクテッド・ス tock・ユニットの失効	—	△1	1	—	—	—	—
株式報酬取引	—	2	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△1,566	—	—	—	—	—
売却目的保有に分類される処分グルー プに係るその他の資本の構成要素への振替	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から	—	—	337	—	△91	△246	—
利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	218	△1,644	△4,172	—	△91	△246	—
2023年6月30日時点の残高	48,164	41,997	9,709	△568	—	1,285	△70

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素				合計	非支配持分	合計
	在外営業 活動体の 換算差額	持分法適用会 社におけるそ の他の包括利 益に対する持 分	売却目的保有 に分類される 処分グルー プに係るその 他の資本の構 成要素	合計			
2023年4月1日時点の残高	28,742	666	—	29,906	138,008	819	138,827
四半期包括利益							
四半期利益(△は損失)	—	—	—	—	△3,200	50	△3,149
その他の包括利益	13,956	127	—	15,139	15,139	42	15,181
四半期包括利益合計	13,956	127	—	15,139	11,938	93	12,031
新株の発行	—	—	—	—	139	—	139
親会社の所有者に対する配当金	—	—	—	—	△4,511	—	△4,511
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	—	△187	△187
新株予約権及びリストリクテッド・ス tock・ユニットの失効	—	—	—	—	△0	—	△0
株式報酬取引	—	—	—	—	2	—	2
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	△1,566	△1,044	△2,611
売却目的保有に分類される処分グルー プに係るその他の資本の構成要素への振替	—	△475	475	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から	—	—	—	△337	—	—	—
利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△475	475	△337	△5,936	△1,232	△7,168
2023年6月30日時点の残高	42,698	319	475	44,708	144,010	△320	143,690

当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
					確定給付制度の再測定	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2024年4月1日時点の残高	48,423	41,797	△2,773	△568	—	△1,110	△3
四半期包括利益							
四半期利益(△は損失)	—	—	△3,173	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△127	△1,120	△10
四半期包括利益合計	—	—	△3,173	—	△127	△1,120	△10
新株の発行	72	△57	—	—	—	—	—
親会社の所有者に対する配当金	—	—	△2,268	—	—	—	—
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	—	—	—
新株予約権及びリストラクテッド・ストック・ユニットの失効	—	△12	10	—	—	—	—
株式報酬取引	—	2	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	—	—
売却目的保有に分類される処分グループに係るその他の資本の構成要素への振替	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から							
利益剰余金への振替	—	—	△274	—	127	146	—
その他の増減	—	—	1	—	—	—	—
所有者との取引額合計	72	△67	△2,530	—	127	146	—
2024年6月30日時点の残高	48,496	41,730	△8,478	△568	—	△2,084	△13

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	その他の資本の構成要素				合計	非支配持分	合計
	在外営業活動体の換算差額	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	売却目的保有に分類される処分グループに係るその他の資本の構成要素	合計			
2024年4月1日時点の残高	53,380	369	—	52,635	139,515	△351	139,163
四半期包括利益							
四半期利益(△は損失)	—	—	—	—	△3,173	△17	△3,191
その他の包括利益	15,589	37	—	14,368	14,368	△4	14,364
四半期包括利益合計	15,589	37	—	14,368	11,194	△21	11,173
新株の発行	—	—	—	—	15	—	15
親会社の所有者に対する配当金	—	—	—	—	△2,268	—	△2,268
非支配持分に対する配当金	—	—	—	—	—	—	—
新株予約権及びリストラクテッド・ストック・ユニットの失効	—	—	—	—	△1	—	△1
株式報酬取引	—	—	—	—	2	—	2
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	—	—
売却目的保有に分類される処分グループに係るその他の資本の構成要素への振替	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から							
利益剰余金への振替	—	—	—	274	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	1	△19	△18
所有者との取引額合計	—	—	—	274	△2,251	△19	△2,271
2024年6月30日時点の残高	68,969	406	—	67,278	148,458	△392	148,065

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益(△損失)	△3,588	△2,762
減価償却費及び償却費	6,658	7,312
支払利息	2,353	1,573
営業債権の増減額(△は増加)	8,109	8,045
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,409	△1,937
営業債務の増減額(△は減少)	△4,235	△4,090
その他	6,208	284
小計	12,097	8,426
利息及び配当金の受取額	147	132
利息の支払額	△2,024	△1,742
法人所得税の支払額	△2,253	△1,607
法人所得税の還付額	255	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,222	5,210
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△3,823	△3,606
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	194	131
その他	169	235
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,459	△3,240
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△0	△1,857
長期借入による収入	62,215	—
長期借入金の返済による支出	△68,104	△6,798
リース負債の返済による支出	△1,395	△1,657
株式の発行による収入	139	15
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△2,611	—
親会社の所有者への配当金の支払額	△4,176	△2,096
その他	△495	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,428	△12,394
現金及び現金同等物の為替変動による影響	2,798	1,857
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,866	△8,567
現金及び現金同等物の期首残高	60,933	47,044
現金及び現金同等物の四半期末残高	54,066	38,477

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

① 報告セグメント

各報告セグメントの主な事業内容は以下のとおりであります。

報告セグメント	主な事業内容
糖尿病マネジメント	血糖値測定システム (BGM) の開発製造販売、持続血糖測定システム (CGM) の販売
ヘルスケアソリューション	臨床検査事業の展開、レセプトコンピュータ・電子カルテ等医療IT製品の開発販売、創薬支援事業の展開
診断・ライフサイエンス	病理検査機器、研究・医療支援機器、診断薬・診断機器並びに電動式医薬品注入器等の開発製造販売

(注) 当社は、2025年3月期よりセグメントの内訳を変更しております。

従来、「糖尿病マネジメント」に含まれていた診断薬事業及び「ヘルスケアソリューション」のLSIM事業に含まれていた診断薬事業を「診断・ライフサイエンス」に変更しております。なお、前連結会計年度のセグメント情報についても、この変更を反映したものに組み替えて表示しております。

前第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

(単位：百万円)

	糖尿病マネジメント	ヘルスケアソリューション	診断・ライフサイエンス	計	その他及び調整・消去	連結
売上収益						
外部顧客への売上収益	23,227	27,948	29,581	80,757	568	81,325
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—
計	23,227	27,948	29,581	80,757	568	81,325
営業利益（△は損失）	1,625	858	1,463	3,947	△2,234	1,712
金融収益						343
金融費用						5,644
税引前四半期利益（△は損失）						△3,588
その他項目						
減価償却費及び償却費	1,794	2,343	2,354	6,493	164	6,658
減損損失	—	—	—	—	0	0

(注) 「その他及び調整・消去」における「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「調整・消去」には、主にセグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

(単位：百万円)

	糖尿病マネジメント	ヘルスケアソリューション	診断・ライフサイエンス	計	その他及び調整・消去	連結
売上収益						
外部顧客への売上収益	23,241	30,252	31,031	84,525	662	85,187
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—
計	23,241	30,252	31,031	84,525	662	85,187
営業利益（△は損失）	1,670	1,252	1,320	4,243	△2,216	2,027
金融収益						133
金融費用						4,922
税引前四半期利益（△は損失）						△2,762
その他項目						
減価償却費及び償却費	1,673	2,507	2,946	7,127	184	7,312
減損損失	—	—	—	—	—	—

(注) 「その他及び調整・消去」における「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「調整・消去」には、主にセグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(売上収益)

収益の分解

主たる地域による収益分解と報告セグメントとの関連は以下のとおりであります。

当社は、2025年3月期よりセグメントの内訳を変更しております（（セグメント情報）参照）。なお、前連結会計年度の主たる地域による収益分解と報告セグメントとの関連についても、この変更を反映したものに組み替えて表示しております。

前第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

（単位：百万円）

	糖尿病マネジ メント	ヘルスケア ソリューション	診断・ライフサ イエンス	その他	合計
地域別					
日本	1,005	27,756	5,884	73	34,719
欧州	12,069	34	7,049	—	19,154
北米	5,916	0	11,955	—	17,873
その他	4,235	157	4,691	495	9,579
合計	23,227	27,948	29,581	568	81,325

当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

（単位：百万円）

	糖尿病マネジ メント	ヘルスケア ソリューション	診断・ライフサ イエンス	その他	合計
地域別					
日本	971	30,167	4,979	72	36,190
欧州	12,468	27	7,272	—	19,768
北米	5,326	1	14,676	—	20,004
その他	4,474	55	4,104	590	9,224
合計	23,241	30,252	31,031	662	85,187